

## わらび粉小屋



<http://digitalarchiveproject.jp/information/わらび粉小屋>



飛騨の東部、阿(あ)多(た)野(の)郷の内 19 ヶ村、東北部の下高原郷の内 7 ヶ村は明治初めまで米ができず、稗(ひえ)を主食としていた。これらの村の人々は豊富にあるわらびの根を掘って粉碎し、澱(でん)粉(ぷん)を作って売り、現金収入を得て暮しをたてていた。

この作業小屋は、益田郡阿多野郡中(なか)洞(ぼら)村(現高山市高根町中洞)から移築したもので、子(ね)の原(はら)高原から落ちる水を利用して水車を廻しわらび粉の採取期にはこの小屋に移住して(山居)作業をした。

説明板より



001\_①遠景001



002\_①遠景002



003\_①遠景003



004\_①遠景004



005\_①遠景005



006\_②近景001



007\_②近景002



008\_②近景003



009\_②近景004



010\_②近景005



011\_②近景006



012\_②近景007



013\_②近景008



014\_③建物・外周001



015\_③建物・外周002



016\_③建物・外周003



017\_③建物・外周004



018\_③建物・外周005



019\_③建物・外周006



020\_③建物・外周007



021\_③建物・外周008



022\_③建物・外周009



023\_③建物・外周010



024\_④水利001



025\_④水利002



026\_④水利003



027\_⑤内部001



028\_⑤内部002



029\_⑤内部003



030\_⑤内部004



031\_⑤内部005



032\_⑤内部006



033\_⑤内部007



034\_⑤内部008



035\_⑤内部009



036\_⑤内部010



037\_⑤内部011



038\_⑤内部012



039\_⑤内部013



040\_⑤内部014



041\_⑤内部015



042\_⑤内部016



043\_⑤内部017



044\_⑤内部018



045\_⑤内部019



046\_⑤内部020



047\_⑤内部021



048\_⑤内部022



049\_⑤内部023



050\_⑤内部024



051\_⑤内部025



052\_⑤内部026



053\_⑤内部027



054\_⑤内部028



055\_⑤内部029



056\_⑤内部030



057\_⑤内部031



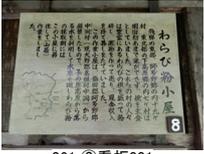
058\_⑤内部032



059\_⑤内部033



060\_⑤内部034



061\_⑥看板001



062\_⑥看板002



063\_⑥看板003



064\_⑥看板004



065\_⑥看板005



066\_⑥看板006



067\_⑥看板007



068\_⑥看板008



069\_⑥看板009



070\_⑥看板010



071\_⑥看板011



072\_⑥看板012



073\_⑥看板013



074\_⑥看板014



075\_⑥看板015